

Alias to P3DBridge 2022 X5

ユーザーマニュアル



目次

必要条件	4
Autodesk Alias	4
Lumiscaphe Patchwork 3D	4
インストール	5
AliasToP 3 DBridge を使用	6
Alias データを受信するための Patchwork 3 D 側での準備	6
Alias からエクスポート	7
エクスポートオプションダイアログボックス	8
既知の問題	9
トラブルシューティング	9
Copyright	11

Version: 20220505.0259

© Lumiscaphe SA, 2001-2022

本社:

Espace France 4 voie Romaine 33610 Canéjan France

ドキュメント作成リード:P. Peyrevidal

本ドキュメントまたはその内容の全部または一部をいかなる方法またはいかなる目的でも、複製、抽出、表示、変更、または使用すること、その他 Lumiscaphe によって認められていない行為は、訴訟の対象となり、固くお断りさせていただきます。

本書に記載されている商標、ブランド、ブランド名、サービスマーク、ロゴおよびその他の特記事項は、それぞれの所有者に帰属し、フランスおよびヨーロッパの法律およびその他の適用される法律により保護されています。許可のない使用または複製は、すべて厳重に禁止されています。

このドキュメントは Alias to P3DBridge ソフトウェアに付属する形で提供しています。ただし、ソフトウェアの機能に関して保証するものではありません。

必要条件

Autodesk Alias

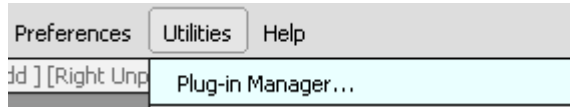
このプラグインは、Alias Concept 2022 で開発され、テストされています。他のバージョンのエイリアスで動作する保証はありません。

Lumiscaphe Patchwork 3D

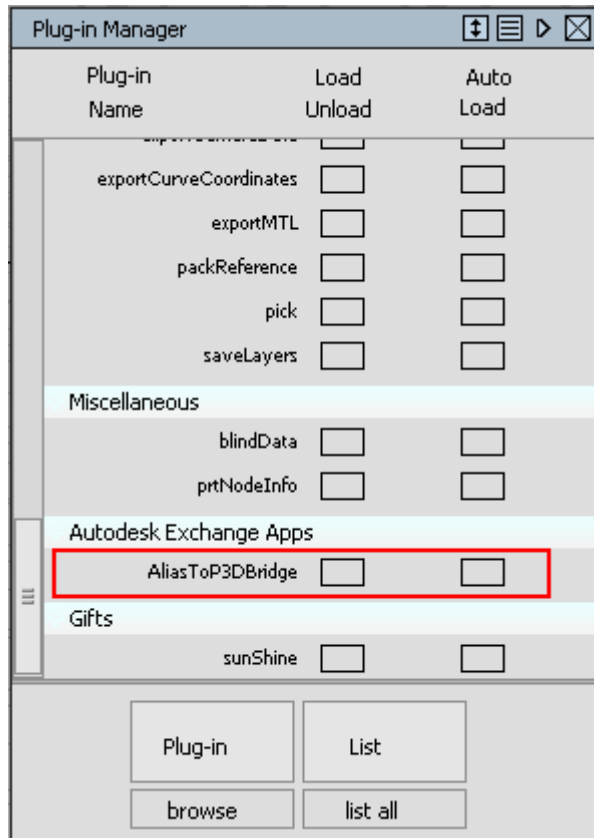
このプラグインは、2022 X 5 リリース 1 以降の Patchwork 3 D Enterprise バージョンと互換性があります。

インストール

1. 互換性のある Patchwork 3 D Enterprise バージョンをインストールします。
2. 次に、.msi ファイル(AliasToP3DBridge 2022 release 1 x64 setup.msi)を使用してプラグインをインストールします。プラグインはユーザーごとにインストールされることに注意してください。各 Windows ユーザーは、個別にインストールする必要があります。
3. Alias で、**Utilities > Plug-in Manager...**を開きます。



Plug-in Managerで、**AliasToP3DBridge**の **Load**にチェックを入れる事で今回のセッションでプラグインがロードされます。**Auto Load**にチェックを入れる事で次回のセッション以降でも自動的にロードされます。



ALIASTOP 3 DBRIDGE を使用



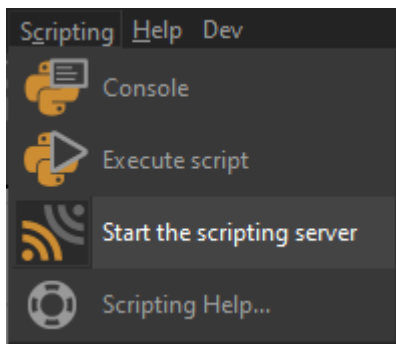
注記

Alias と Patchwork 3 D を同時に実行する必要があります。

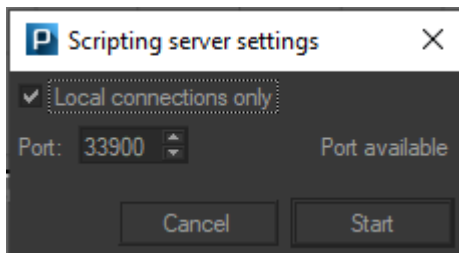
Alias データを受信するための Patchwork 3 D 側での準備

プラグインを接続するには、Patchwork 3 D が「スクリプトサーバーモード」(Scripting server mode) になっている必要があります。

1. Patchwork 3 D メニューバーで、**Scripting** > **Start the scripting server** を選択して有効にします。



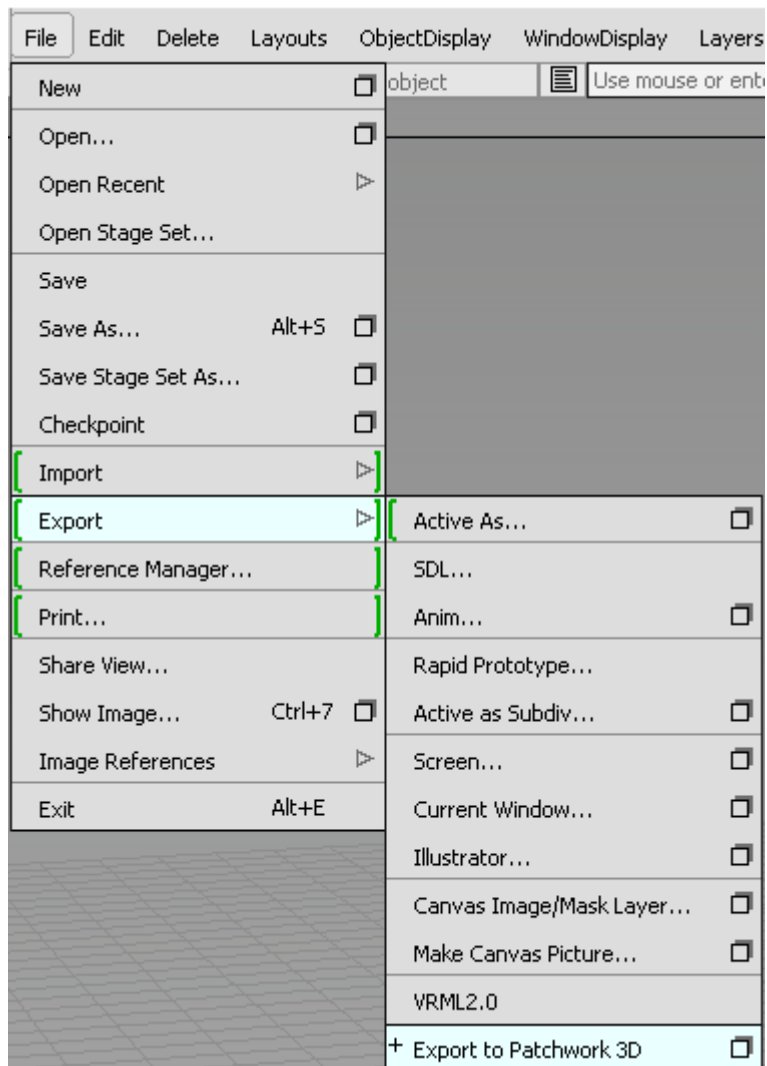
2. **Start** をクリックしてサーバーを起動します。



3. データのインポートが完了したら **Stop** をクリックします。

Alias からエクスポート

ラグインは、次のパスから呼び出すことができます: **File > Export > Export to Patchwork 3D**。



このアイコン  はエクスポートオプションダイアログボックスを表示します。

エクスポートオプションダイアログボックス

Export P3D Options X

Export to Patchwork 3D

Connection

Host: 127.0.0.1

Port: 33900

Hierarchy

Export layers as Shaper layers

Export groups as Shaper layers

Stitching

Stitch or merge surfaces

Don't Stitch Surfaces

Merge Surfaces in Patchwork 3D

Stitch Surfaces to Shells (experir

Geometry

Tessellation tolerance: 0.1000

Export hidden geometry

Export selected objects only

Export surfaces

Export shells

Export meshes

Export materials

Export cameras

Reset Apply Exit Go

Host: 接続先のホスト。デフォルト（127.0.0.1）は、ローカルコンピュータを意味します。

Port: 接続するスクリプトサーバーのポート(デフォルトは 33900)。

Export layers as Shaper layers: Alias レイヤーを Shaper レイヤーとしてエクスポートします。

Export groups as Shaper layers: Alias グループの階層を Shaper レイヤーとしてエクスポートします。

Don't Stitch Surfaces: サーフェイスをグループ化しない。各サーフェイス、メッシュ、およびシェルは、Alias で表示される形で個別にエクスポートされます。

Merge Surfaces in Patchwork 3D:各サーフェイス、メッシュ、およびシェルは個別にエクスポートされますが、Patchwork 3D で一緒にマージされます。異なるレイヤーまたは異なる材料のサーフェイスはマージされませんが、不連続なサーフェイスはマージされます。

Stitch Surfaces to Shells (実験的):Alias を使用して隣接するサーフェイスをシェルにステッチするかどうかを設定します。異なるレイヤーまたは異なる材料のサーフェイスは一緒にステッチされません。指定されたステッチ許容誤差のギャップのあるサーフェイスのみが一緒にステッチされます。この設定を使用すると、場合によってはエイリアスがクラッシュしたり、結果のジオメトリが正しくない場合があります([既知の問題 \[9\]](#)セクションを参照)。

Stitching tolerance:サーフェイス間の最大ギャップによりステッチすることができます。この設定は、**Stitch Surfaces to Shells**が選択されている場合にのみ表示されます。

Keep groups: 同じグループ内にあるサーフェイスのみをステッチするかどうかを設定します。この設定は **Stitch Surfaces to Shells**か **Merge Surfaces in Patchwork 3D**が選択されている場合にのみ表示されます。

Tessellation tolerance: サーフェイスのテッセレーションの精度を制御します。

Export hidden geometry: 非表示ジオメトリもエクスポートするかどうかを設定します。

Export selected objects only

Export surfaces

Export shells

Export meshes

Export materials: マテリアルをエクスポートしサーフェイスに割り当てます。プロシージャテクスチャはサポートされていません (ファイルテクスチャのみ)。

Port: 接続するスクリプトサーバーのポート (デフォルトは 33900)。

Host: 接続するホスト。デフォルト (127.0.0.1) は、ローカルコンピューターを意味します。

既知の問題

Alias 側の問題により、エクスポート中にサーフェイスをステッチすると、クラッシュしたり、エクスポートされたジオメトリが Patchwork 3D でばらばらになる可能性があります。この不具合はオートデスクに報告しており、現時点では修正が保留されています。



ヒント

回避策として、**Merge Surfaces in Patchwork 3D** パラメーターを使用できますが、テッセレーションの品質は低めです。

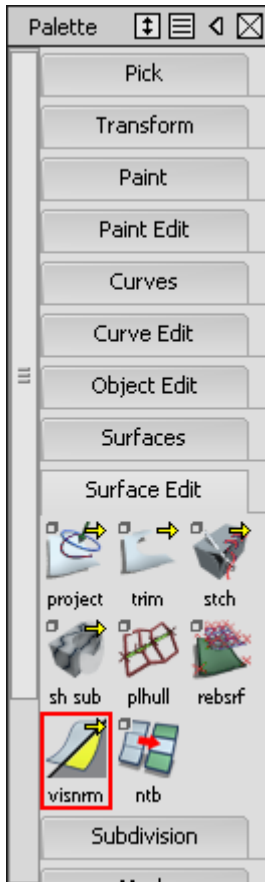
トラブルシューティング

- 表示されていない **Export to Patchwork 3D** メニュー
プラグインマネージャーでプラグインが正しく読み込まれていることを確認してください。
- 幾つかのサーフェイスがエクスポートされていない

サーフェスが無効であると疑われる場合はスキップされ **Alias Promptline History** にメッセージが表示されます。無効なサーフェスは、主に **Alias tessellation of Shells** または **Stitch Surfaces to Shells** を使用した場合に発生します（**既知の問題 [9]** セクションを参照）。この設定を使用せず、シェルのステッチ処理を無効にすると、サーフェスが正しくエクスポートされるようになることがあります。

- **Patchwork 3D でインポートすると一部のサーフェイスが反転している**

Patchwork 3D でサーフェスを反転させるか、または、Alias の機能で **Surface Edit > visnrm** を使用する事で反転可能で、これは **Palette** にあります。青色のサーフェスは正しい向きで、黄色のサーフェスは反転しています（Patchwork での赤色の状態）。サーフェスを青色にするには左クリック、黄色にするには右クリックします（反転）。



COPYRIGHT

Alias to P3DBridge 2022 X5
Version: 20220505.0259

© Lumiscaphe SA, 2001-2022

本社:

Espace France 4 voie Romaine 33610 Canéjan France

ドキュメント作成リード:P. Peyrevidal

本ドキュメントまたはその内容の全部または一部をいかなる方法またはいかなる目的でも、複製、抽出、表示、変更、または使用すること、その他 Lumiscaphe によって認められていない行為は、訴訟の対象となり、固くお断りさせていただきます。

本書に記載されている商標、ブランド、ブランド名、サービスマーク、ロゴおよびその他の特記事項は、それぞれの所有者に帰属し、フランスおよびヨーロッパの法律およびその他の適用される法律により保護されています。許可のない使用または複製は、すべて厳重に禁止されています。

このドキュメントは Alias to P3DBridge ソフトウェアに付属する形で提供しています。ただし、ソフトウェアの機能に関して保証するものではありません。